

生徒・卒業生、保護者、ひと塾、相談者、関係者各位

# むさしの学園&むさしの高等学院からのお便り

NPO法人 フリースクール **むさしの学園**

埼玉県指定技能連携校 **むさしの高等学院**

(星槎国際高等学校・志木キャンパス)

代表 望月 泰宏【携帯：090-1554-1755】

第三回目の緊急事態宣言が出ましたが、生徒たちは衛生管理をしっかり守り、元気に活動をしています。

もし体調が思わしくないと感じた方はお休みになっても構いません。望月にご連絡ください。

- ① 「令和2年度むさしの高等学院の卒業式」が3月13日(土)に無事に行われました。卒業生は2名。希望通り、大学に進学いたしました。質素ですが温かみのある卒業式でした。
- ② 「令和3年度むさしの高等学院の入学式」が4月10日(土)に行われました。新生入生は4名。先輩たちに囲まれ、楽しい、アットホームな入学式でした。
- ③ 「むさしの学園」は生徒が増え、皆さん、学習を含め楽しい学園生活を過ごしています。子どもたちはすぐ仲良しになれるもんですね。
- ④ ゴールデンウィークの間、カレンダー通りに学園・高等学院は開講しています。もし、わからない場合は望月の携帯にお電話を下さい。

~~~~望月の独りごと~~~~

「温故知新」・・・100年前、第一次世界大戦の頃、スペイン風邪が大流行しました。戦争中ですから人的流れは防ぎようもなく、世界は混乱しました。それ以前も数々の感染に人々は苦しめられてきたはず。事例は沢山あるはず。昨年初め、新型コロナウイルスの流行の兆しがあった時、皆さんは昔のことを学習し直したのでしょうか。今は100年前と比べ人的流れはとてつもなく激しく、速いはず。また、医学の進歩は何十倍も進化しているはず。コロナの兆し起きた時、望月は思いました。「人の流れは止められない。ウイルスの拡散も止められない。まずは、感染者の受け皿(病院・保健所他の医療関係)を確保すべき。次に、ワクチンの研究とその製造に邁進すべき」と。しかし、「GO TO TRAVEL」等の政策を取り、ウイルスのしたたかさを侮りました。スペイン風邪の時、世界はどのような状況だったか?ではどうしたらよいのか?等を考える政治家がいなかったことに悔しい思いをしています。しかし、そのような政治家を選んだのも私たち国民ですから。

今後も感染症の惨事は起こります。今こそ私たち一人一人が感染症について真摯に考え、そのことを通して、「人と人」、「国と国」が「共に生きる」ことの必要性を学んでいこうではありませんか。

**「むさしの高等学院」では令和3年の新生入生、令和3年の転入生を募集しています。お気軽にご相談下さい。**

詳細は、「むさしの高等学院(電話：048-478-0006)」にお問い合わせください。

**お時間があるとき「むさしの高等学院」で学園・学院のHPをご検索してください**